



平成23年3月29日

各 位

上場会社名 旭松食品株式会社
代表者 代表取締役社長 木下 博隆
(コード番号 2911)
問合せ先責任者 執行役員経理部長 足立 恵
(TEL 06-6306-4121)

業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年2月10日に公表いたしました平成23年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	14,800	400	400	△2,000	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	17,346	△45	△74	△178	△19.45

修正の理由

当社グループは、平成23年1月11日に「納豆事業の譲渡に関する基本合意締結について」を公表し、平成23年3月期通期連結業績の予想について修正の公表を見送っておりましたが、それらの概要が決まりましたのでお知らせいたします。

売上高につきましては市場の競争は激しく、また昨年5月に関東、東海エリア等の納豆の販売撤退もあり前連結会計年度に比べ大きく減少となる見込みです。

営業利益、経常利益につきましては、原材料等の高騰はありましたが、単品収益管理の徹底や固定費の削減などを継続的に実施しており大きく改善する見込みであります。

特別損益に関しましては、当社は平成23年2月25日に「納豆事業譲渡契約締結について」及び「希望退職者募集の実施についてのお知らせ」を公表いたしました。これにより営業権、商標権等の売却による特別利益14億円を翌連結会計年度に、また、納豆事業撤退に伴う事業構造改善費用24億2千4百万円を当連結会計年度の特別損失に計上いたします。事業構造改善費用の主なものは固定資産の減損損失18億2千2百万円、希望退職者に支給される特別加算金等2億6千3百万円、棚卸資産の評価損2億4百万円であります。

また、当社は遊休となっておりました埼玉工場の譲渡が決定したため、譲渡価額までの減損損失3億8千8百万円を計上する見込みであります。

詳細につきましては、本日公表の「特別利益及び特別損失の発生に関するお知らせ」「希望退職者募集の結果に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上